

2019年3月14日

ミニマルで快適なパーソナルモビリティ “リーン・オートモービル”の研究報告

発表者：後藤健太郎

概要

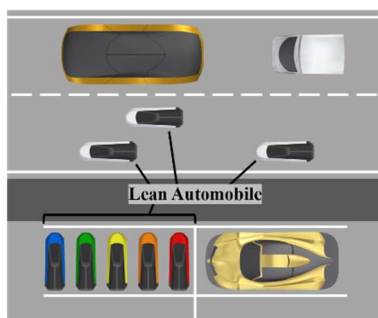
博士研究として開発を進めているパーソナルモビリティ「リーン・オートモービル」について紹介し、現在の進捗について報告を行いました。

リーン・オートモービル

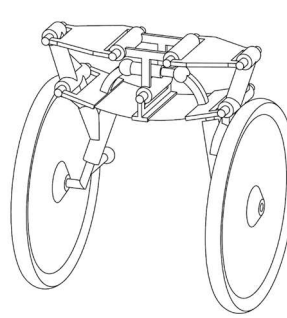
都市での日々の移動を担うミニマルで快適な次世代の移動手段として「リーン・オートモービル」を提案して開発を進めています。特徴は二輪車並みのフットプリントでありながらキャabinを備えることです。この特徴をミニマルな手段で実現するために、車内から機構を通じて乗員がリーンをコントロールできるセンターピボットサスペンションを考案し特許出願を行いました。



構想図



省フットプリントのイメージ



センターピボットサスペンション

研究の進捗

博士論文審査の前段階の予備審査は2月にクリアしました。論文執筆までに実車両を用いた走行試験を行う予定ですので、現在試験車両の設計を行っています。試験車両の製作パートナーと博士論文執筆後の実用化の際のパートナーはそれぞれ確保できております。

以上